



山 梨

甲府支局
〒400-0858 甲府市相生1-2-14
☎ 055-222-8808(代)
FAX 055-220-6376
kofu@sankei.co.jp

長野支局
〒380-0826 長野市北石堂町1182
☎ 026-223-1212
FAX 026-291-5318
nagano@sankei.co.jp

新潟支局
〒950-0965 新潟市中央区新光町5-1千歳ビル
☎ 025-285-2121
FAX 025-282-2152
niigata@sankei.co.jp

購読申し込み
☎ 0120-70-3034
配達集金
☎ 0120-34-4646
紙面・記事
☎ 0570-046460
Web
<http://www.sankei.com/region/region.html>

梨大と連携 産婦人科開業

甲斐市 産後ケアに万全対応

〈山梨〉甲斐市と山梨大医学部が連携し、産後ケアまで対応できる「このはな産婦人科」(中村朋子院長)が10月3日、同市西八幡に開業する。妊娠、出産だけでなく、産後鬱に至るまで切れ目なく対応できるのが特長だ。市は子育て支援体制を充実させることで人口減対策に役立てたい考えだ。

来月3日 人口減対策へ期待感



山梨大大学院助教から開業医に転身する中村朋子院長
24日、甲斐市西八幡

内科、整形外科などのクリニックが集まったしたメデイカルタウンの一角。24日に行われた「このはな産婦人科」の竣工式後、保坂武市長は取材に対し「産後までの『切れ目』ない対応は全国でも数例しかない。支援モデルを成功させた」と期待感を強調した。

母子は通常、出産後の1カ月検診で、出産した病院への通院が終わる。ところが、この前後から産後鬱、母乳トラブル、夜泣きなど

の問題が起きてきているという。山梨大大学院産婦人科教室助教から開業する中村院長は、「鬱なら精神科、乳腺トラブルなら外科が担当になるが、事前に相談するところがなく、多くの母子が困っている。産後ケアとは、その部分を担うこととす」と説明する。

市健康増進課が5、7月に出産後の母親に行った調査では、回答した173人のうち57%が「不眠」「イライラ」「疲れ」「涙が出た」など、産後鬱を訴えた。

この結果などを受け、市と同医院は共同で、出産後約1カ月半の母子への産後ケアの無料相談に取り組みことになった。週1回(火曜午前)、10組20人の母子に対応する。

医院の医師、助産師の資格を持つ看護師のほか、市から保健師、助産師、心理



竣工式が行われた「このはな産婦人科」
24日、甲斐市西八幡

心にもつなげられる」と話す。ただ、同医院では「より安全に行うため」に分娩は山梨大医学部へ紹介している。県医務課によると、県内の産婦人科で分娩できる医療機関は現在15施設。10年前と比べ2割以上も減っている。全国的に分娩を嫌い、産婦人科医を目指す若い医師が減少傾向にあるとの指摘も多い。妊産婦がすべてを任せられる「ワンストップ」の態勢づくりは簡単ではないようだ。